

## 令和3年度第1回下関市公立大学法人評価委員会 議事録【要録】

令和3年7月13日（水）14:00～16:00

場所：下関市立大学 本館Ⅱ棟5階 大会議室

【出席者】

下関市公立大学法人評価委員会

：前田委員、江里委員、佐藤委員、佐伯委員、藤上委員、事務局

公立大学法人下関市立大学

：山村理事長、川波学長、韓副学長、砂原副学長、法人事務局

1.	開会のことば																																				
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員5名全員が出席</li> <li>○委員の過半数が出席しているため、下関市公立大学法人評価委員会条例第5条第3項の規定により、会議が成立</li> </ul>																																				
2.	辞令交付																																				
3.	委員長互選																																				
委員	○前田委員を推薦。																																				
委員	～異議なし～																																				
事務局	○前田委員が委員長に選任される。																																				
4.	議事																																				
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本年度も昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、委員には事前に質問事項を提出し、法人にも事前に回答を作成していただいた。</li> <li>○本委員会は原則公開であるため下関市のホームページに本日の開催の旨を掲載し、傍聴ができるようにしている。（当日の傍聴人は0人）</li> </ul>																																				
（1）2020年度法人業務実績に係る評価について																																					
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○審議の進め方について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）法人から全体の説明</li> <li>（2）「教育に関する目標」、「研究に関する目標」、「産官学連携の推進に関する目標」、「管理運営に関する目標」の大項目ごとにヒアリングを実施</li> <li>（3）評価の確定、特記事項や指摘事項の確認</li> </ul> </li> </ul>																																				
委員長	○法人より実績報告書全体の概要について説明をお願いする。																																				
法人	○「2020年度業務実績報告書」について概要を説明																																				
＜実施状況に関する自己評価＞																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>教育</th> <th>研究</th> <th>産官学連携の推進</th> <th>管理運営</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ⅳ</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>Ⅲ</td> <td>49</td> <td>10</td> <td>21</td> <td>31</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>Ⅱ</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>Ⅰ</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>56</td> <td>11</td> <td>24</td> <td>36</td> <td>127</td> </tr> </tbody> </table>		評価	教育	研究	産官学連携の推進	管理運営	計	Ⅳ	5	0	1	2	8	Ⅲ	49	10	21	31	111	Ⅱ	2	0	0	0	2	Ⅰ	0	1	2	3	6	計	56	11	24	36	127
評価	教育	研究	産官学連携の推進	管理運営	計																																
Ⅳ	5	0	1	2	8																																
Ⅲ	49	10	21	31	111																																
Ⅱ	2	0	0	0	2																																
Ⅰ	0	1	2	3	6																																
計	56	11	24	36	127																																
<ul style="list-style-type: none"> <li>Ⅳ：年度計画を上回って実施している（8項目）</li> <li>Ⅲ：年度計画を概ね順調に実施している（111項目）</li> <li>Ⅱ：年度計画を十分に実施できていない（2項目）</li> <li>Ⅰ：年度計画を実施していない（6項目）</li> </ul>																																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○評価「Ⅳ」の計8項目について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>【項目番号9-2（ディプロマポリシーに基づく教育の充実）】</li> <li>【項目番号9-3（ディプロマポリシーに基づく教育の充実）】</li> <li>【項目番号12-3（リカレント教育への取組）】</li> <li>【項目番号19-1（大学院入試制度の見直しと広報の強化）】</li> <li>【項目番号20-2（学修支援の充実）】</li> </ul> </li> </ul>																																					

	<p>【項目番号40-2（地域が求める人材養成への貢献）】</p> <p>【項目番号51-2（大学として求める教員像や教員組織の編制に関する方針の策定）】</p> <p>【項目番号52-1（実務に長けた人材の確保）】</p> <p>○評価「Ⅱ」と「Ⅰ」の計8項目は、その全てが新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動等を中止したものの。</p> <p>【項目番号5-1（グローバル化への関心の涵養）：Ⅱ】</p> <p>【項目番号25-1（ハラスメントによる人権侵害の防止）：Ⅱ】</p> <p>【項目番号27-1（特色ある地域研究の推進）：Ⅰ】</p> <p>【項目番号45-4（下関市のグローバル化への支援）：Ⅰ】</p> <p>【項目番号46-1（産官学共同国際研究の推進）：Ⅰ】</p> <p>【項目番号53-2（職員の資質向上）：Ⅰ】</p> <p>【項目番号64-2（安全管理体制の充実）：Ⅰ】</p> <p>【項目番号65-1（事業継続計画の策定）：Ⅰ】</p> <p>○2020年度実施の127項目のうち、ⅣとⅢを合わせて119項目、全体の93.7%について年度計画を概ね実施していることから、2020年度計画の全体的な達成状況は「概ね良好である」と自己評価するもの。</p>
法人	<p>○「下関市公立大学法人評価委員会による2019年度公立大学法人下関市立大学の業務実績に関する評価結果の業務改善等への反映状況」について、計14項目の指摘に対し、2020年度内で全て適切に対応している。</p> <p>●教育に関する目標</p> <p>【項目番号3-2（能動的な学びの促進）】</p> <p>【項目番号3-3（能動的な学びの促進）】</p> <p>授業担当者へのアンケートの実施及びそこから抽出した課題等を担当教員間で情報共有し、また、共同自主研究の支援充実を図った。</p> <p>【項目番号9-2（ディプロマポリシーに基づく教育の充実）】</p> <p>新たに教育経済学領域を開設することにより、令和3年度は定員10人を超える13人が入学した。</p> <p>【項目番号12-4（リカレント教育への取組）】</p> <p>リカレント教育センターの設置及び多数の受講生への履修証明プログラムの実施により人材育成に貢献しているとともに、海峡メッセ下関にサテライトキャンパスを開設することで受講生の利便性を向上させるなど環境整備にも努めた。</p> <p>●研究に関する目標</p> <p>【項目番号28-1（科学研究費助成事業等への申請・採択の向上）】</p> <p>【項目番号28-2（科学研究費助成事業等への申請・採択の向上）】</p> <p>全員の申請はかなわなかったものの、採択数向上のための講演会を開くとともに教員人事評価基準を見直すことで、その申請率は前年度の67%から91%と飛躍的に向上している。</p> <p>【項目番号29-1（研究環境の改善及び支援体制の整備）】</p> <p>本学の運営体制の見直しの一環として各種委員会の廃止や整理を行うことで、教員が研究に集中できる環境を整備した。</p> <p>●管理運営に関する目標</p> <p>【項目番号49-1（社会的要請に適應する体制の強化）】</p> <p>都市みらい創造戦略機構の設置や事務組織の再編などを行い、迅速で機動的な運営を図ることとしている。</p>

	<p>【項目番号50-1（ハラスメント未然防止の徹底）】 従来組織を整理・統合し相談支援センターを設置し、専門家による相談支援業務を行うとともに、必要な要綱やガイドラインを整備した。</p> <p>【項目番号51-1（大学として求める教員像や教員組織の編制に関する方針の策定）】 学部と大学院それぞれで策定し、公表をしております。これら方針に沿った人事を行うとともに、引き続き教員評価制度の充実を図っていく。</p> <p>【項目番号54-1（ワークライフバランスの確保）】 出勤状況や休暇取得状況を毎月確認するとともに、各所属長による注意喚起を行うようにしている。</p> <p>【項目番号58-1（内部質保証システムの構築）】 【項目番号58-2（内部質保証システムの構築）】 その推進に責任を負う組織を設置し、権限や役割を明確化するとともに、内部質保証の全学的な方針及び手続を定め公表しています。</p> <p>【項目番号59-1（評価の充実）】 2020年9月開催の経営戦略・点検評価会議において評価結果を精査するとともに、必要な措置についてPDCAサイクルを作動させる観点からも2020年度内に対応するよう各所管に対し指示を行いました。また、過年度においては、いただいた指摘の反映状況を翌年7月中に地方独立行政法人法第29条に基づき公表をしていたが、この度からは反映状況の取りまとめ及びその公表を速やかに行うこととし、年度明けの4月に公表を実施している。</p>
大項目Ⅱ	「教育に関する目標」
委員	=ヒアリング= ～意見なし～
事務局	<p>○法人の自己評価が「Ⅰ」と「Ⅱ」の項目について、新型コロナウイルス感染症の影響という、大学の努力だけではどうしようもない項目については「評価をしない」という可能性も含めて検討が必要ではないか。</p> <p>○検討の方法としては、目的が達成できておらず、その目的を達成するための手段の代替措置を取ることが可能か不可能により判断し、不可能なものは、「評価をしない」とする。</p>
委員	～賛成～
委員	<p>○法人の自己評価の妥当性について 妥当とする。</p> <p>○特筆すべき事項について 大学院の改革で新領域が設置され、定員を超えて入学するという成果になったことは、この委員会でも高く評価されるべきかと思う。評価結果の中のどこかに、「構想・準備・採用人事・入試のすべてにおいて、精力的かつ的確に遂行されたことを高く評価する」との主旨の文言を盛り込む。</p> <p>○指摘事項について 【項目番号5-1（グローバル化への関心の涵養）】 【項目番号25-1（ハラスメントによる人権侵害の防止）】</p>
大項目Ⅲ	「研究に関する目標」
委員	=ヒアリング= ○法人の自己評価の妥当性について 【項目番号27-1】は、新型コロナウイルス感染症の影響により研究を中止せざるを得なかったため「Ⅰ」から「評価しない」に変更してもよいのでは。
委員	～賛成～
委員	○法人の自己評価の妥当性について

	<p>【項目番号27-1】の評価を「I」から「評価しない」に変更。</p> <p>○特筆すべき事項について 追加及び修正事項なし。</p> <p>○指摘事項について 指摘対象の項目なし。</p>
<b>大項目Ⅳ 「産官学連携の推進に関する目標」</b>	
委員	<p>=ヒアリング=</p> <p>○【項目番号45-4】及び【項目番号46-1】の実施内容に記載のある「企画した研究」とは何か。</p>
法人	<p>○両方とも、下関市の国際交流拠点ということで、港湾機能を中心とした研究を実施したいと考えていた。しかし、オンラインだけでは、実施するのは困難な研究であったため、研究は、実施できておらず自己評価を「I」としている。</p>
委員	<p>=ヒアリング=</p> <p>○法人の自己評価の妥当性について 【項目番号46-1】は、年度計画において、目的とされているのは、あくまでも「国際研究の進め方を検討する」ことだと思う。国際研究の進め方についての研究を企画はしているわけであるから、目的は達成できたと考え、評価を「I」から「Ⅲ」に変更してはどうか。</p>
委員	<p>～賛成～</p>
委員	<p>=ヒアリング=</p> <p>○【項目番号45-4】は、オンラインなどを利用して実施できる可能性はあったのか。</p>
法人	<p>○今回の研究については、オンラインだけでは実施は困難であると考えている。</p>
委員	<p>○法人の自己評価の妥当性について 【項目番号45-4】は、代替措置も困難だったと思われるため、「I」から「評価しない」に変更してはどうか。</p>
委員	<p>～賛成～</p>
委員	<p>○法人の自己評価の妥当性について 【項目番号46-1】の評価を「I」から「Ⅲ」に変更。 【項目番号45-4】の評価を「I」から「評価しない」に変更。</p> <p>○特筆すべき事項について 追加及び修正事項なし。</p> <p>○指摘事項について 指摘対象の項目なし。</p>
<b>大項目Ⅴ 「管理運営に関する目標」</b>	
委員	<p>=ヒアリング=</p> <p>○【項目番号53-2】について、ここのSD研修とはオンラインや動画視聴による研修では、対応できなかったのか。一同で集まってやることに重きを置いているのか。</p>
法人	<p>○この度のSD研修は、一同で集まってやることに意味があったため、コロナの感染時期で研修を実施することが困難でということもあったが、コロナの対応で研修を実施する時間も取れなかった。</p>
委員	<p>=ヒアリング=</p> <p>○法人の自己評価の妥当性について 【項目番号53-2】は、先ほど法人から説明があったが、SD研修は、新型コロナウイルス感染症の影響があるなかでは、実施は困難であったと思う。したがって、「評価しない」こととしてはどうか。</p>
	<p>=ヒアリング=</p> <p>○【項目番号65-1】について、年度計画は「BCPを策定する」とあったが、策定自体をしていないのか。</p>
法人	<p>○準備はしていたが、コロナの対応で忙しかったため、策定をしていない。</p>
委員	<p>○法人の自己評価の妥当性について</p>

- 【項目番号 53-2】の評価を「I」から「評価しない」に変更。
- 特筆すべき事項について  
追加及び修正事項なし。
  - 指摘事項について  
【項目番号 64-2】  
【項目番号 65-1】

(2) その他

事務局 ○次回の開催等について連絡

3 閉会のことば